

社富歯発第169号

令和3年7月13日

卒業生各位

一般社団法人 富山県歯科医師会

会長 山崎 安仁



令和3年度 歯科技工士臨床定着支援事業研修会の開催について

謹啓 盛暑の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本学院の運営に関しまして格別なるご指導ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。

つきましては、別紙カリキュラムに基づき標記研修会を開催致します。

ご出席を希望される方は富山県歯科医師会までFAXにて8月20日（金）までにご連絡下さいますようお願い致します。

謹白

※ 先着順で定員になり次第締め切らせていただきます

〒930-0887 富山市五福五味原2741-2

一般社団法人 富山県歯科医師会

【TEL】 076-432-4466

【FAX】 076-442-4013

【Eメール】 post@tda8020.com

令和3年度 歯科技工士臨床定着支援事業研修会実施要領

1. 目的 歯科技工士の能力及び技術のより一層の向上を図るものとする。
2. 対象者 下記の研修事項を習得しようとする者。
3. 選択項目 希望回を選択、複数受講可能とする。
4. 場所 富山歯科総合学院 3F 歯科技工士科
5. 定員 30名程度
(但し定員に達した場合はお断りすることがあります。)
6. 受講料 無料
7. 日程

【第1回】

日時：令和3年9月5日（日） 9:30～12:30

テーマ：「～デンチャーワールド～」

～患者のQOL向上を目指し、素材とテクニックを駆使した義歯～

講師：戸田 篤 先生 茨城県 デンタルデザイン デイズ 代表

内容：近年の歯科技工はデジタル化が進み画像処理システムやコンピューター加工技術がますます進化している。デンチャーもCAD/CAMや3Dプリンターなどによりデジタル化しつつありますが、決してコンピューターソフトがすべて製作するわけではなく正しい知識を持った歯科技工士のコントロールによって設計され形にする。デンチャーの正しい製作法を学ばなければ患者さんを満足するデンチャーはできない。今回は基礎的な臨床総義歯から生体におけるデンチャーの調和と素材やテクニックを駆使したデンチャーを紹介しようと思う。

現在、益々超高齢化が進み、デンチャーの重要性は増している半面、デンチャーに対するイメージは決して良い状況と言えるでしょうか。デンチャーに悪いイメージを抱いているのは患者さんだけではありません。日本の歯科技工士の約9割が保険の枠でデンチャーを作っており、対価や材料やテクニックを自由に選択できないまま不本意なデンチャーを製作しているのが現実ではないでしょうか。

患者が待合室で気軽に読める義歯の本「Denture World」～義歯で口福になるために～を2013年4月にデンタルダイヤモンド社から出版した。患者さんにダイレクトに素材とテクニックを紹介するための本です。患者さんはもちろん歯科医師、歯科技工士に向けてデンチャーの魅力を伝えるため製作した本です。保険で良い物が作れないとは言いませんが材料や時間の問題を考えると限界があります。素材もテクニックも日々進化しています。最良を考え適正な材料やテクニックを選びぶことによりもっと様々な質の向

上したデンチャーを製作できるはずです。

私は歯科技工士になり故河邊清治先生の歯科医院に務めていた頃から、現在に至るまで44年、患者さんのQOL向上を目指したより良い義歯製作するために保険の枠にとらわれずに取り組んできました。

2018年2月に出版した「CompleteDentureDesign」～心でつくる総義歯～の中から「3つの印象と3つの模型から作る総義歯」。時短を考え調整量の少ない人工歯の選択や失敗の少ない人工歯配列法や発音や嚥下運動を考え歯肉形成など。パーシャルデンチャーは審美と機能を両立するための修理加工のできるPMMAによる「弾性レジンクラスプデンチャー」や目的に応じたレイヤーデンチャー（積層義歯）の中から「CPデンチャー®」、「カラーレイヤーデンチャー」、「シリコンレイヤーデンチャー」など。目標を明確にし、患者さんのQOL向上を目指し、素材とテクニックを駆使したデンチャーを視覚的に分かりやすいように写真からシンプルに解説したい。

【第2回】

日時：令和3年10月3日（日） 9:30～12:30

テーマ：「～TRIOS4とカラープリント4.0の活用法～」

講師：細見 勇貴 先生 京都府 株式会社 松風 インストラクター

内容：近年、CAD/CAMだけではなく口腔内スキャナーや3Dプリンターという選択肢が増えたことで「モデルレス」というキーワードを耳にすることも多くなってきました。また、3Dプリンターはその特性から切削加工機が苦手とする複雑な形状やアンダーカットを含む補綴装置を造形することが出来るため、臨床の幅を大きく広げられる可能性を秘めています。今回、弊社で取り扱いを行っているTRIOS4とカラープリントsystemをご紹介します。

これから口腔内スキャナーや3Dプリンターをご検討されている方に少しでもお役に立てる情報を紹介できればと思います。

【第3回】

日時：令和3年11月21日（日） 9:30～12:30

テーマ：「Future Prospects with Digital Dentistry」～2020は人類史上忘れられない一年となった、Digital Dentistry領域においても非常に大きな潮流が始まった～

講師：池永 司 先生 石川県 マハロ デンタル 代表

内容：“Digital Compleat Denture”はこの領域における最後の砦であり、手を出すべきか出さぬべきかこれからも議論になると思われる。スキャニング方法～設計～出力全てが大きなトピックである。今回、Digital Compleat Dentureの一症例に於ける製作手順をラボサイドの視点から述べる。また、3Dプリントを行なったデジタルインプラントガムモデルにてインプ

ラント上部構造を製作した一症例もご紹介したい。また、総論として、日常臨床においてデジタル機器をどのように活用しているか臨床例を述べたい。Digital dentistry 領域では、インレー、クラウン・ブリッジ、インプラント各種ストラクチャー、パーシャルフレームワーク、カスタムトレー、スプリント、コンプリートデンチャー、モデル、ガイドをミリングまたは STL データにより排出し、歯科用 3D プリンタにて製作する。材料は日々進化し、昨日まで使っていた材料が”過去のモノ”となる事もある、Digital dentistry 領域においては日々歯科界の現状を把握し、この荒波にのみ込まれぬようアンテナを張っておく事が重要である。今後”Digital dentistry”をスタートしたいという臨床家の道標となれば幸いである。

【第4回】

日 時：令和4年1月16日（日） 9:30～12:30

テーマ：「歯科のデジタル化が進む今だからこそ・・・

歯科技工士が知っておきたいビジネスマナー」

講 師：山下 茂子 先生 大阪府 デンタルデジタルオペレーション

内 容：私たち歯科技工士を取り巻く領域・環境は、急速なデジタル化、超高齢化社会により大きく変化してきました。特に歯科医院内でのシェードテイキングや歯科医師との訪問診療への同伴など、歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、そして患者さんと接触する機会が多くなり、歯科技工領域外の人々との協調が強く求められるようになってきました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、歯科医院への訪問が制約された時期があり、対応に苦慮された方も多くおられることと思います。ただ、それが歯科技工のデジタル化を促進する要因の一つとなりました。歯科医院に訪問できないことで、P Cや小型タブレット、携帯電話等を利用して、写真や動画、製作指示、デジタルデザインやI O Sデータの確認等、歯科医師とのコミュニケーションツールとして、頻繁に使用されてきております。

今回の講演では、歯科技工領域の拡大や歯科技工のデジタル化が進むことにより、これまで以上に歯科医療関係者や患者さんと好ましい「人間関係」や「信頼関係」を築くことが重要となってまいります。そこで、人に好感を与えるあいさつや正しい言葉遣い、正しい敬語、身だしなみや電話対応、コミュニケーション能力などのスキルをUPし、「新しい時代の歯科技工士」を目指して頂けるよう、色々なポイントをお示ししながら、皆さんのお役に立つ「社会人のビジネスマナー」についてお話しをさせていただきます。

8. 連絡先 富山歯科総合学院 歯科技工士科

TEL:076-441-5355 FAX:076-441-5340

令和3年度 歯科技工士臨床定着支援事業研修会申込書

歯科医院名

歯科医院住所

	受講者氏名
第1回 (9/5)	
第2回 (10/3)	
第3回 (11/21)	
第4回 (1/16)	

○申込み先

〒930-0887 富山市五福五味原2741-2

一般社団法人 富山県歯科医師会

【TEL】 076-432-4466

【FAX】 076-442-4013

【Eメール】 post@tda8020.com

○申込み締切

令和3年8月20日（金）まで